

私が陸上競技を始めたきっかけは、小学5年生の時に母から陸上クラブに誘われたからです。最初は全く乗り気ではありませんでしたが、練習をすればするほど記録が伸びる短距離走に魅了され、のめり込んでいくようになりました。大学入学後に競歩に転向したのは、高校生の時に競歩をしている選手を見て、「おもしろそう」と思ったからです。ちょうど短距離走で記録が伸び悩んでいたため、大学生になったら心機一転、競歩に挑戦しようと決めました。

競歩の魅力は、「私には伸びしろがいっぱいある」と感じられることです。レースに出場する度に改善点が見つかり、それを試行錯誤しながら修正して自分のものにしていくことで、記録を更新し続けることができます。また、全国大会でトップ選手と競えるというワクワクした気持ちも競歩を続ける大きな原動力となっています。

学業と競歩の両立において一番頑張ったと思うことは、教育実習中の練習です。短時間で質の高い練習をすることで、実習中に疲労を残さないようにしていました。

今後の抱負は、社会人になっても記録を更新し続けていくことと、何よりも心から競歩を楽しむことです！

香川県を代表する競歩選手

## 勝間 緑

創発科学研究科  
創発科学専攻2年  
徳島県立城東高等学校出身



katsuma Midori

陸上・競歩競技で  
数々の県新記録を  
樹立・更新

記録 (2026年1月21日時点)

- 3000m競歩(トラックレース):14分00秒77
- 5000m競歩(トラックレース):21分56秒26
- 10000m競歩(トラックレース):46分13秒00
- 5km競歩(ロードレース):22分58秒
- 10km競歩(ロードレース):46分13秒
- 15km競歩(ロードレース):1時間15分05秒
- 20km競歩(ロードレース):1時間41分00秒

◎全て香川県記録



キラキラ！

学生目線で  
防犯支援に  
取り組む



輝く香大生

SETOKUとは

サイバーセキュリティ分野における安全・安心な地域社会の実現を目的として、犯罪被害防止のための教育活動、広報啓発活動、サイバー空間の浄化活動に取り組んでいます。活動が評価され、学長賞や日本セキュリティ大賞2025(セキュリティ人材育成部門)優秀賞などを受賞し、香川県警察からも感謝状をいただきました。

サイバー防犯ボランティア  
「SETOKU」代表

## 佐藤 璃音

創造工学部  
情報システム・セキュリティコース2年  
香川県立坂出商業高等学校出身



Sato Rion

SETOKUに入ったのは、所属するコースに関係する内容を、授業外でも実践的に学べると考えたからです。実際の活動では、フィッシングサイトのテイクダウン方法といった専門的な知識を得られただけでなく、情報セキュリティ分野で仕事をしている方々と交流する機会にも恵まれました。教育活動では、小学生に対して分かりやすく、かつ楽しく伝える難しさを感じる一方で、感謝の言葉をもらえたときには大きな達成感があります。

また、SETOKUは地域と大学をつなぐ役割を担っており、街に出て広報活動を行う中で、学生であっても地域に直接貢献できる点に大きな意義を感じています。代表に就任後は、入隊届の処理や偽サイト報告件数の集計など、事務作業を自動化し、円滑に活動が進むよう取り組みました。

学業でもSETOKUでも多くの仲間に支えられているからこそ、どちらも疎かにせず両立できています。今後も、これまでの経験を生かしながら、活動に継続して関わり、地域の安全・安心に貢献していきたいです。また、後輩が安心して活動を継続できるように、引継ぎや体制作りにも力を入れていきたいと考えています。

## KAGAWA UNIVERSITY TOPICS

香川大学のトピックス(2025年10月~2026年1月)を紹介します。  
※詳しい記事は二次元コードよりご覧いただけます。

10/1 WED

香川大学博士フェスティバル2025を開催



このイベントは、本学大学院の博士(後期)課程について紹介を行い、その魅力や社会からの評価、学生への支援等について広く周知し、博士(後期)課程への進学を促進することを目的として、令和5年度から継続して開催しています。講演、本学ならではの特徴的な取組等の説明、博士課程の紹介動画、パネルディスカッションなどが行われ、学生からは具体的な質問もあり、関心の高まりが窺えました。



10/24 FRI ~ 26 SUN

第77回香川大学祭を開催  
~幸町キャンパス~



テーマは「華-bloom-」。これまで培ってきた努力や情熱から生まれる多彩な「華」が咲き誇り、来場者の方々にもその美しさや熱量を感じてもらいたい、というH.O.P(大学祭実行委員会)の願いが込められています。サークルや有志団体によるステージ発表や企画展示、模擬店の出店など、学生たちの創意工夫が光る企画が多数展開され、3日間で延べ約5000人の来場がありました。



11/19 WED

高松赤十字病院ロビーコンサート  
「秋の夜空を想うコンサート」を開催



香川大学と高松赤十字病院は、高松赤十字病院ロビーにて院内コンサート「秋の夜空を想うコンサート」を開催しました。今年新たにスタートした「地域貢献・地域活性化プロジェクト」の一環として企画されたもので、病院での取り組みとしては第一弾となります。当日は入院患者さまをはじめ、多くの来院者が観客として集まる中、リコーダー、ピアノ、歌、クラリネットなど多彩なプログラムで全7曲を披露しました。



11/22 SAT

サイバー防犯ボランティア「SETOKU」  
がインターネットセキュリティ教室を開催



香川大学の学生で構成するサイバー防犯ボランティアSETOKUが、「みらいワクワク!子ども仕事体験フェスタin高松」にて小学校3年生から6年生向けに「インターネットセキュリティ授業」を行いました。「ネット課金」「炎上」などを取り上げ、クイズ形式にしたり、冒険学習型デジタルスタンプラリー「キノコラリー」を導入し、ここで学んだ内容をゲーム感覚で復習できる教材の提供を行いました。



12/19 FRI

創造工学部の学生がデザインした  
交通安全チラシを街頭で配布



創造工学部 造形・メディアデザインコースの学生がデザインした交通安全チラシを、大学付近の交差点において、通行する方々へ配布しました。チラシはあいおいニッセイ同和損害保険と高松市が共同で企画し、高松市における自転車事故の削減、および令和8年4月から導入される交通反則通告制度(青切符)の周知を目的に作成したもので、配布にあたり、自転車事故削減に向けた啓発を行いました。



1/14 WED

「まちづくりタウンミーティング」(若者世代と市長との意見交換会)を開催



大西秀人高松市長と若者世代が意見交換する「まちづくりタウンミーティング」が本学において開催されました。この会はこれからの時代を担う若者世代に対し、まちづくりについて考える機会を創出するとともに、高松市が目指す「人がつどい未来に躍動する世界都市・高松」の実現に向けて、市政の課題に関して意見交換を行い、市政運営に反映させることを目的として行われたものです。

